



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education

機構ニュース

Vol.218 2021 August

今月の記事

Top News

- 「大学改革支援・学位授与機構で学士の学位取得をめざす方へのオンライン説明会」を開催—動画コンテンツ「単位積み上げ型の学士の学位授与制度」を公開— ……1

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業者等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

- 機構認定短期大学・高等専門学校専攻科一覧について ……2

質保証連携

- 大学質保証フォーラム 参加登録を受付中 ……3

国内外の質保証機関等との連携

- 『「キャンパス・アジア」モニタリングでみるダブル・ディグリー』を刊行 ……4

諸外国の質保証制度・動向情報の収集・整理・提供

- 新規刊行物のご案内 — 高等教育に関する質保証関係用語集 第5版 ……5
- NIC-Japanセミナーシリーズ「外国の教育制度・高等教育資格」を開催 ……6

主要行事日程

- Schedule (8月~10月) ……7

TOP NEWS

○「大学改革支援・学位授与機構で学士の学位取得をめざす方へのオンライン説明会」を開催 —動画コンテンツ「単位積み上げ型の学士の学位授与制度」を公開—



動画コンテンツ「単位積み上げ型の学士の学位授与制度」より

当機構は、令和3年6月26日（土）、「大学改革支援・学位授与機構で学士の学位取得をめざす方へのオンライン説明会」を放送大学と共同で開催しました。

当機構と放送大学は、平成26年度に、生涯学習社会における高等教育の推進という共通の目的の下、学位授与事業と大学教育活動で相互に協力していくための協定を締結しており、本説明会もその一環として行われていますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、平成

31年2月の放送大学東京文京学習センターにおける説明会以降、参集対面方式での開催は見送りになっていました。

今回、放送大学のオンライン配信等に関する技術的なノウハウを活用することにより、放送大学10月入学生募集や学位授与申請者への案内として、オンライン説明会（放送大学と当機構をZoom接続してYouTubeで説明内容を配信）を共同で開催することができました。

6月上旬から両機関のホームページ等で募集したところ、全国から400名を超える方々からの参加登録がありました。当日は、参加登録者にYouTubeの限定配信接続先のURLを送信してアクセスしてもらい、約90分間の視聴件数は平均して270～290件を記録しました。

放送大学の司会（MC）によりスムーズに進行したオンライン説明会は、当機構が新たに制作した動画コンテンツ「単位積み上げ型の学士の学位授与制度」を初めて公開した後、「学位授与申請の手続きについて」と題して、機構の制度による学位取得の流れを申請案内「[新しい学士への途](#)」に即して説明しました。その後、「事前質問への回答コーナー」として、事前に多く寄せられた質問と回答を整理して紹介しました。

当機構と放送大学は、コロナ禍においても種々工夫をして、今後も共同で説明会等を企画することを検討しています。

なお、動画コンテンツ「単位積み上げ型の学士の学位授与制度」（約15分間）は、[当機構ウェブサイト](#)からアクセス〔YouTubeにリンク〕して、いつでも何度でも視聴することができます。

学位授与事業

短期大学・高等専門学校卒業者等を対象とする単位積み上げ型の学位授与関係

○ 機構認定短期大学・高等専門学校専攻科一覧について

・令和3年度版を当機構ウェブサイトに掲載

当機構では、短期大学や高等専門学校を卒業、あるいは一定の要件を満たす専修学校専門課程を修了するなど、既に高等教育機関において一定の学習を修めた後に、さらに大学の科目等履修生制度などを利用して高等教育レベルの学修を積み上げた方に対して、審査を行った上で学士の学位を授与しています。

また、その学士の学位取得に必要な高等教育レベルの学習機会を拡大するために、短期大学や高等専門学校に置かれた専攻科のうち機構が定める要件を満たすものについては、当該専攻科において修得した単位が、大学の科目等履修生制度などを利用して修得する単位と同等のものとして使用することができる専攻科として認定しています。（認定専攻科）

本年度においても例年同様、認定専攻科において単位を修得しようとする方の参考としていただくため、短期大学や高等専門学校の認定専攻科の令和4年度入学者に関する学生募集の概要等を取りまとめ、当機構の[ウェブサイト](#)で公表しましたのでご利用ください。

質保証連携

○ 大学質保証フォーラム 参加登録を受付中

当機構は大学等の高等教育機関の質保証活動の推進に資するため、毎年「大学質保証フォーラム」を開催しています。

令和3年度の大学質保証フォーラムは、「オンライン教育の支援と質保証ーコロナ時代を越えて」をテーマとして、9月13日（月）9時30分から12時00分にかけてオンライン開催いたします。

遠隔による高等教育の提供は、インターネットの普及によりイノベーティブな高等教育の領域などで成長を見てきました。しかし、2020年初頭以来の新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、世界の多くの高等教育システムが急激かつ全面的な遠隔教育の実践を迫られることになり、世界各国の高等教育の質保証機関においても、感染予防のための応急的な措置としてのオンライン教育と、今回の経験を機に今後定常的な提供が予想されるオンライン教育に関し、学修者としての学生の権利を保護しその教育を提供する機関を支援するという観点から、従来とは異なる仕組みや異なる発想を基にした活動を模索する動きが始まっています。

そこで、令和3年度の大学質保証フォーラムでは、国内外から有識者を招き、オンライン教育という切り口から質保証に何が求められるのか、何ができるのかについて議論を行います。

ご参加は無料で、日英通訳付きとなっております。

本フォーラムの詳細および参加事前登録（必須）の情報は下記のウェブページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

大学質保証フォーラム開催案内掲載ページ：

<https://www.niad.ac.jp/consolidation/international/forum/>

国内外の質保証機関等との連携

○ 『「キャンパス・アジア」モニタリングでみるダブル・ディグリー』を刊行

2011 年から 2019 年にかけて、当機構と中国教育部高等教育教学評価センター（HEEC: Higher Education Evaluation Center of Ministry of Education）及び韓国大学教育協議会（KCUE: Korean Council for University Education）は、「キャンパス・アジア」の国際共同教育プログラムに対する質保証活動である「モニタリング」を共同で実施しました。

そしてこの度、近年日本の大学において国際化の重要な手段の一つとして取り組まれているダブル・ディグリープログラムに着目し、これまでの「モニタリング」を通して得られたダブル・ディグリーに関する知見をまとめた冊子『「キャンパス・アジア」モニタリングでみるダブル・ディグリー』（日本語、英語）を刊行しました。



本書では、2019 年 12 月に刊行した「[共同モニタリング報告書](#)」で紹介しているダブル・ディグリーに関する優れた取組や、ダブル・ディグリープログラムの重要性の背景や検討に当たってのヒント等を、日中韓の関連する制度の紹介を交えながら解説しています。

日中韓に限らず海外の大学との間でダブル・ディグリープログラムを構築・運営される際などの参考となれば幸いです。

本書の PDF 版は以下の URL からご覧いただけます。

https://www.niad.ac.jp/n_kokusai/campusasia/monitoring_plus.html#doubledegree

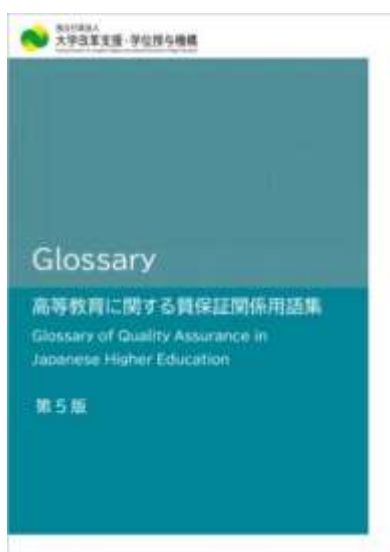
諸外国の質保証制度・動向情報の収集・整理・提供

○ 新規刊行物のご案内 — 高等教育に関する質保証関係用語集 第5版

当機構では、日本及び各国の高等教育制度・質保証制度に関する基礎資料集として「インフォメーション・パッケージ」を刊行しています。

今回は、新規刊行物として、「高等教育に関する質保証関係用語集 第5版」を2021年8月に刊行しましたので、ご案内します。

高等教育に関する質保証関係用語集 第5版



2007年の初版以来、ご好評をいただいております「高等教育に関する質保証関係用語集」を約5年ぶりに改訂しました。本用語集では、日本の高等教育・質保証制度に関する用語を日英2カ国語で解説しています。

第5版では、2016年の第4版刊行以降の高等教育・質保証制度の動向、関係法令の改正及び用語集に対する関係者の意見を反映して、179語（うち新規用語22語）を収録しました。特に、3巡目の機関別認証評価（2018年度以降）で重視されることになった内部質保証に関する用語のほか、2019年9月に当機構内に日本公式の国内情報センター（National Information Center: NIC）である高等教育資格承認情報センター（NIC-Japan）が設置されたことを受け、NICの関連用語を新たに収録しています。

各高等教育機関において、海外に向けて日本の制度を英語で説明する際や、評価業務に対する関係者の理解促進、また学内でのFD・SD活動の実施に当たり、用語集をご活用いただけますと幸いです。

- PDF版はこちらよりダウンロードできます。（無料）

<https://www.niad.ac.jp/consolidation/international/publish/package.html>

- 紙冊子版は近日中にAmazonにて販売を開始する予定です。

○ NIC-Japanセミナーシリーズ「外国の教育制度・高等教育資格」を開催

当機構の高等教育資格承認情報センター（NIC-Japan）は、2021年7月にNIC-Japanセミナーシリーズ「外国の教育制度・高等教育資格」（韓国、モンゴル）を開催しました。

NIC-Japanは学生や研究者の国際的なモビリティ向上を目的とした高等教育資格の円滑な承認に資する情報提供活動の一環として、今年度より「NIC-Japanセミナーシリーズ」と題するセミナーをシリーズで開催し、諸外国の教育制度や外国資格審査の事例など、外国資格承認にまつわる諸テーマについて国内外の有識者よりお話しいただくことを計画しています。

この度その第1弾として、7月21日（水）に韓国、7月28日（水）にモンゴルをテーマとするセミナーをオンラインで開催しました。韓国については、韓国の国内情報センター（NIC）である

「KARIC」のMinah Parkセンター長に、モンゴルについては、モンゴルの高等教育政策や国際交流などを専門とする早稲田大学 地域・地域間研究機構 招聘研究員のミャグマル アリウントヤー氏にそれぞれ講演頂きました。このセミナーシリーズには大学等で国際業務に携わる教職員を中心に200名を超える（2回合計）参加があり、講演に耳を傾けるとともに熱心な質疑応答がなされました。

各セミナーでは、当該国の教育制度への理解の深化を趣旨として、教育制度の概要や高等教育資格（学位等）、高等教育への入学資格などのほか、その国特有の制度や講師の立場からみえる高等教育の動向を聞くことができました。Minah Park氏からは、韓国の高等教育情報の発信を担う立場から、高等教育を巡る最近の政策動向や、新型コロナウイルスへの政府の対応状況などについてお話し頂きました。ミャグマル アリウントヤー氏からはご自身の研究活動をふまえ、モンゴル人留学生の留学先（大学、日本語学校等）や専攻分野の傾向など日・モンゴル間の留学の歴史と現状をお話し頂きました。

各セミナーの最後には、モデレーターを務めた堀田泰司高等教育資格承認情報センター長から講師に対して、示唆に富む講演と詳細な質疑応答に対する感謝が述べられ、両セミナーとも盛会のうちに終了しました。

なお、今回のセミナーシリーズで使用した資料は、[NIC-Japanのウェブサイト](#)からダウンロードすることが出来ます。



講師（左：Minah Park 氏、右：ミャグマル アリウントヤー氏）

主要行事日程

○ Schedule

8月

日	行事名	担当課
20 日	学位審査会（令和3年度第2回）	学位審査課
26 日	第 63 回国立大学教育研究評価委員会	国立大学評価室
下旬	高等専門学校機関別認証評価に関する説明会及び令和4年度に実施する高等専門学校機関別認証評価に関する自己評価担当者等に対する研修会	評価支援課

9月

日	行事名	担当課
10 日	学位記伝達式・講評	学位審査課
11 日～ 10月4日	令和3年度 10 月期学位授与申請（データ入力）受付期間	学位審査課
13 日	令和3年度大学質保証フォーラム	国際課
24 日～ 10月4日	令和3年度 10 月期学位授与申請（書類送付）受付期間	学位審査課
調整中	学位取得者表彰式	学位審査課

10月

日	行事名	担当課
下旬	高等専門学校機関別認証評価委員会（令和3年度第2回）	評価支援課



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構

National Institution for Academic Degrees and Quality Enhancement of Higher Education

